

住民等から通報のあった油臭への対応について

1. 通 報 日 令和6年12月4日（水）～令和6年12月12日（木）
2. 通報件数 14件（売市地区6件、城下地区6件、江陽地区2件）
3. 通報内容 トイレ、排水口から油の臭いがする。
4. 対応状況
 - 1) 通報者への対応
 - ・ 現地で立会い、臭いがすることを確認。
 - ・ 原因を調査中であることを説明し、排水トラップに水を溜めておくよう助言した。
 - 2) 発生源特定のための対応
 - ・ 通報があった場所周辺のマンホール及び公共ますの蓋を開け、マンホール内の臭気及び採水による油膜の確認により油分の侵入経路を調査した。
 - ・ 調査の結果、複数箇所から臭気が確認された。特に売市地区1箇所、城下地区1箇所からは強い臭気と油膜が確認されたため、発生源特定の調査を継続した。
 - 3) 臭い軽減のための対応
 - ・ 12月12日（木）午後に、臭気の強い箇所を含む3箇所に中和剤の投入を行った。
5. 教育総務課からの通報
 - ・ 12月12日（木）19：20に教育総務課から八戸小学校のボイラー用の重油が漏れているとの連絡があり、現地の排水設備を調査したところ、敷地内の複数の汚水ます内に重油を確認し、流下先は公共下水道である可能性が高いことを確認した。
 - ・ 12月13日（金）8：00頃に公共ますの蓋を開け、重油が流出した形跡を確認した。
 - ・ 同日9：30に重油タンク内の重油抜き取り完了を確認した。
 - ・ 上記措置後の同日午後に、これまで通報のあった場所を中心にマンホール内の調査を行ったが、臭気はほぼ確認されなかった。
 - ・ 12月13日（金）以降は、油臭がするとの通報は0件である。
6. 今後の対応
 - ・ 通報初日の12月4日（水）以降、公共下水道の流末である東部終末処理場の放流水質について異常な値は検出されていないが、今後も監視を継続していく。
 - ・ 下水道への重油の流入がなくなり、今後は、臭気が収まっていくものと考えられるが、住民からの通報等があった場合は、現地調査を行い、追加の対策が必要か検討を行う。

八戸小学校におけるA重油漏れについて

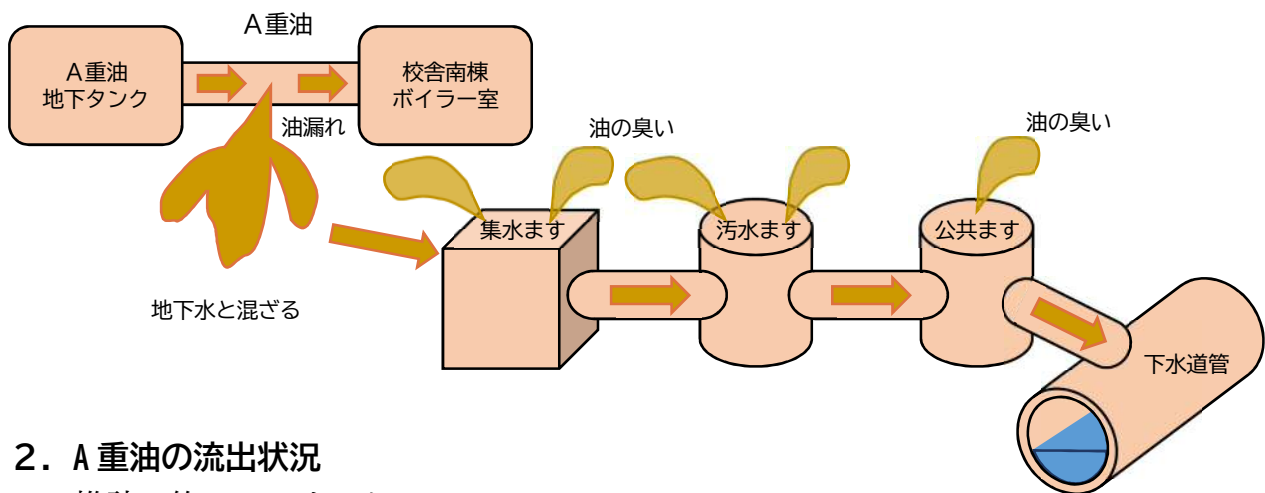
1. 事案の概要

<12月12日(木)>

- ・ 10:00 頃 教育総務課へ八戸小学校から「油の臭いがする」旨、連絡が入る。
- ・ 19:20 頃 A重油地下タンクと校舎南棟ボイラー室の間に位置する集水ますの中に大量の油があることを確認したため、下水道施設課へオイル吸着マットの提供を依頼。
- ・ 19:50 頃 教育総務課より消防、警察へ通報。
- ・ 20:10 頃 A重油地下タンクから校舎南棟ボイラー室までを結ぶ地下配管からA重油が漏れて、地下水と混ざり集水ますへ流入していることを確認。
- ・ 21:00 頃 速やかに地下タンクからA重油をすべて抜き取ろうとしたものの、夜間で業者の手配が難しかったため、翌日早朝の対応となる。

<12月13日(金)>

- ・ 8:00 頃 下水道施設課職員が公共ます内で油が流出した形跡を確認。
⇒ 集水ますから公共ますを通じて下水道管へ油が流出したものと判明。
- ・ 8:00 ~9:30 頃 消防立会いの下、業者による地下タンクからのA重油抜き取り。
- ・ 日中 八戸小学校南棟では、移動式の灯油ストーブを使用。



2. A重油の流出状況

推計 約 1,000 リットル

(ボイラーの平均使用燃費から算出した残量と実際の残量との乖離による推計)

3. 今後の対応

- ・ 八戸小学校敷地内の集水ます、汚水ます及び排水管の清掃。
- ・ 当面、八戸小学校南側校舎の暖房は、移動式の灯油ストーブとエアコンで代用。
- ・ 八戸小学校南側校舎の暖房システムの見直し。(A重油地下タンク→地上灯油タンク)
- ・ 市内小中学校における燃料タンク残量点検などを強化し、再発防止の徹底を図る。

参考：別紙に都市整備部 下水道施設課による建設企業協議会資料（12月17日）を添付